

令和元年度第2回安城市総合教育会議進行【要約】

日 時 令和元年8月1日(木)
午後2時から午後3時10分

場 所 アンフォーレ本館1階 多目的室2、3

出席者 市長 神谷 学
教育委員会 杉山 春記 教育長
加藤 滋伸 教育長職務代理者
船尾 恭代 委員
近藤 倉生 委員
伊奈 希 委員

出席する職員 永田博充 企画部長
杉浦章介 行革・政策監
早川智光 教育振興部長
近藤芳永 生涯学習部長
横山真澄 企画情報課長
岡田知之 アンフォーレ課長
神谷 徹 総務課長
上原就久 学校教育課長
久野晃広 生涯学習課長
名倉建志 スポーツ課長
近藤一博 文化振興課長
太田芳樹 企画情報課課長補佐
澤田敦至 総務課課長補佐
足立雅之 学校教育課課長補佐
杉浦邦彦 企画情報課企画政策係長
山田紗織 企画情報課企画政策係主事

傍聴者 なし

開 会 午後1時50分

日 程

第1 開会

第2 市民憲章の唱和
(市民憲章 唱和)

第3 あいさつ(要旨)

神谷市長： 本日の議題は第2次安城市教育大綱の策定方針について。御承知のとおり本市の教育大綱は4年ごとに定めることとしており、今年度は現在の教育大綱の実施期間の最終年度に当たるため、第2次安城市教育大綱の策定に向けて御意見をいただき、策定に磨きをかけていく必要がある。本日は事務局において策定した大綱の素案を提示させていただく。貴重な御意見等賜るようお願いを申し上げ、挨拶とさせていただきます。

杉山教育長： 暑い中、子どもたちは夏休みに入って10日少し経った。現在までのところ大きな事故の報告もなく元気で過ごしてくれていると思っている。ただ、この暑さのために、昨年度、各小・中学校に通知をしたが、気温35度以上、WBGT31度以上については全ての教育活動を中止するという通知をしてあり、その関係で学校によってはプール開放の中止や、部活動の中止の措置をとっているところである。今日は、教育大綱の策定審議ということで、よろしくお願ひしたい。

第4 議題

(1) 第2次安城市教育大綱の策定方針について
企画情報課長補佐説明する。

船尾委員：この素案のところの学校教育の実施について。この学び合いやかかわり合いを重視した次世代を担う児童生徒の育成と書かれているが、この学び合いがそのままこの①の学び合いを重視した学習を進めますとなっていて、しかも②のところがかかわり合いが消えてしまっているから、何となく一貫性がないという気がする。だから学びあいの中身を少し説明するとか、なぜかかわり合いなのかということがないと、題と中身が合わない気がするの、ここで入れていただけたらと思う。

学校教育課長：今回のこの素案については、昨年度策定をした安城市教育プラン2028の項目を提案させていただいているので、今御指摘いただいた点についてはまた再度検討していきたいと思っている。

伊奈委員：スポーツに関するところで、(4) ①東京オリンピック・パラリンピックのことで事前キャンプ地の誘致などに努めますというところがあるが、事前キャンプ地の誘致は少し時期的に、ずれているようで違和感がある。大綱が上がるのが、令和2年の3月で、オリンピックまで半年間もないという時期である。オリンピック・パラリンピックを機に、子供たちのスポーツの関心がさらに高まるという感じのことが含まれるとありがたいと思う。

スポーツ課長：この辺りの表現については、オリンピックまでの取り組みを待たず、そこで関心が高まってくるのでその後の取り組みなどを踏まえた表現に変

えさせていただきますのでよろしくお願いいたします。

神谷市長：今の時点で言うと前回、女子ソフトの世界選手権大会のときに、カナダのチームが安城で合宿してくださったので、基本的にそのようなチームにまたお願いをしていくことになると思う。選手の顔ぶれがそろって、監督と意思統一ができて、どこでキャンプにしようかというのはもう少し先になるのか。

スポーツ課長：今、カナダチームで進めているが8月に予選があって8月末に決定をするため、これが策定されるときには確実な締結もできている可能性もあるのでそれを踏まえて表現させていただくようにする。

近藤委員：市民アンケートの最初に住みよい町というのがあった。住みよい町というのが90%を超えていてなかなかデータがすばらしいなど。愛知県で住みやすいところ、全国で上位に長久手市が入っていた。いろんな重要度と指標があったと思うが、教育に関しては、今回の調査では重要度は高いが結果が少しいまいちというように下がったということが、お話があった。大綱そのものに何か言うつもりはないが、安城市の子供たちの学力テストの平均値を全国の少なくとも47番目ではなくて、せめて、中央値ぐらいになっていく努力について、目標値をこの大綱に入れるということは少し難しいが、質問したい。

学校教育課長：学校教育課の考え方を、お話を差し上げると、まず学力をどう捉えるかというのがとても大きな問題としてある。国が行っている学力学習状況調査の結果を当然その一つの指標ではあると思っている。昨年度、策定させていただいた安城市教育プラン2028の中にも現状分析や、これからの未来像を全部抱えているが、その学力学習状況調査の結果については一切実は触れていない。これは意識して私たちも触れていないという面がある。数字として出すと、教員もそこに集中していく。確かにそれも一面ではあるが、そこに集中していくことは、結果的に全体像はよくはならないのではないかと、それよりも、もっといろいろ、子供たちのかかわりであるとかいろんなことを高めていく中で結果としてそれが上がってくるというのはあってもいいと思うが目標等の数字を表わしていくというのは今、学校教育課としてはやめているというのが現状の考え方である。

近藤委員：学校教育課長もおっしゃったように、総合的に子供たちがいろんな学力のファクターがあってそれを数値化して目標値にするのはまずいのではないかと、特に学力に関しては、いろんな子のサバイバルが起こって競争心が激しくなっているいろんな弊害もあるのでよろしくないのではないかとということもとてもよく理解できるが、一方では教育の成果をどこで求めるかということになるとそれが人生全てではないが、一応数字として出てくる。教育の一方では大きく筒抜けで、一方では細かく示してしているということになって少し若干の矛盾性は感じないわけではない。都市の、先程の住みやすさという観点から言うと若い世

代が入ってくる、これは人口推計のシミュレーションをされていて、高齢化率も上がってきて若い世代が下がってくると、都市を維持していくのためには、若い世代に入ってきてもらいたい。だからどこの市も皆願望だと思うがそういう中で住みやすさのランキングが出た。愛知県、長久手市でこの重要度の指標から見ると、子育ての政策がいいとか教育の政策がいいとか、交通インフラいいとかが書いてある。そういう目でみると、学校教育のレベルを上げるというのか、ほかの市に比べてやはり何か目標とするようなことを、現実としてそのアウトプットとしていかにこれを出すかということも結構重要なファクターではないかと思う。これに入れろというわけではない。

神谷市長：おそらく意気込みとしてはお持ちだとは思いますが。

学校教育課長：今おっしゃったようにその最終成果として、何かしら評価も当然ある。確かに今実際、安城市の小学校中学校の学力・学習状況調査の結果としてはほぼ県に似ている部分があるが、例えば小学校の国語は低い。算数はほぼ学力は全国レベルぐらいで、これは毎年ホームページでも5段階で評価をしながら公開をしている。確かに小学校の段階ではそういう安城市の状況はあるが、中学校の3年生の段階になると国語は実は全国平均、数学については全国平均をかなり超えて、いい状況になっている。だから、ある意味、学力・学習状況調査の意図するその学力は、安城市はほぼ義務教育を終えるところではクリアしているのではないか思っている部分があるので、あえて触れてなかったというものもあるが、今、御意見いただいたものもあるので、今後どういったものがこういったものに反映できるかどうかまた考えたいと思う。

神谷市長：先程の事前キャンプ地の誘致だが、今の課題としては1番大きな課題で何としても誘致を成功させたいという思いはわかるが、それとはまた別にオリンピック・パラリンピックを契機として、市民のスポーツ振興にどう結びつけるかみたいなことをもっと強調して書いておくべきではないかと思う。

スポーツ課長：はい。

神谷市長：誘致も大事だが、オリンピックを一つの契機に、どう市民の日常的なスポーツ習慣に結びつけていくかという部分を明記しておいたほうがいいのではないかと思った。

加藤職務代理者：この素案が出ているが、この文言が出るということは大方針ということか。

企画情報課長：第2次安城市教育大綱（素案）に記載のある文言は、現在第8次総合計画の中間見直し案の骨子案に記載している学校教育、生涯学習、文化・芸術、スポーツの4分野のそのままの内容で、議論いただいた後の策定後はこれ以上の記載をすることはない。ただ、これは大綱で各分野それぞれ個別計画がある。学校教育に関して申し上げますと学校教育プラン2028が今年度か

らスタートしており、生涯学習の関係でも、第3次生涯学習推進計画等とスポーツまで個別計画があり、個別計画の中にさらに細かい施策や取り組みがあるのでそのように御理解をいただきたい。

加藤職務代理者：だから12月中旬からパブリックコメントがあるが、本当にこの項目がいいかというコメントになるのか。

企画情報課長：はい、加藤職務代理者がおっしゃる通り。

加藤職務代理者：実際には例えば学校教育の計画は、本当によくできていると思う。これパブリックコメント実施したときにいろんなことが出てきて、整理が困ることもあると思うがそれでもこれはやるべきだと思う。最初の船尾委員が言われた、学び合いやかかわり合いを重視したという項目をこの安城市学校教育プラン2028で見えていくと、学び合いについては①で学び合いを重視した学習を含む。それ以後も少人数学級とか云々のところも含めて学び合いとかかわり合いの施策である。だから内容的にはかかわり合いも含めてここに書かれてはいるが、それが実体として見えてこないということか。

学校教育課長：はい。

船尾委員：項目を挙げた以上は、中身が読み取れなければいけないと思う。一般人が読む場合には少しわかりにくいと思う。

学校教育課長：両委員からお話いただいた内容を私も今受け取っているので、整合性も含めてやはりかかわり合いという言葉もきちんと下のほうに載せるべきではないかと感じている。どこでどう表現するかということについてまた今後、検討させていただきたい。

加藤職務代理者：よろしくお願ひしたい。今まで出てきている項目以外で出てきたものは入れないのか等、当然パブリックコメントを行ってそれは妥当だと思えば入れていくという方針で言っているのか。

企画情報課長：原案をパブリックコメントという形で意見募集して出された意見を踏まえ、市の考え方も公表していく。中にはいただいた意見により、計画の修正も当然していくことになろうかと思っている。あるいは加藤委員がおっしゃったとおり、こういった項目については追加したほうが良いという意見をいただきそれが妥当なものであれば再度、市の中で検討したうえで、総合計画の記載についても修正するし、それに併せて大綱の記載についても、追加の可能性もあり得ると思っている。

加藤職務代理者：第2次安城市教育大綱の策定方針について、満足度評価と重要度評価のところでも現在の評価が出ているが、これは、また今度はいつするのか。

企画情報課長：2年に1回の市民アンケート調査を行っており、2年ごとに同じ項目をアンケート調査で確認をさせていただいている。

加藤職務代理者：学校教育についてこれを見ると少し満足度が低いと思うのと、たとえばエアコンの設置とかはこれができた段階だと満足するが、暑い時期に今はエアコンが入っておられないところで調査があると、これが達成されていないということがある。これは、これからもこのように評価をしていきますという資料として考えればよいか。

企画情報課長：はい。市民アンケートについては、たとえば生涯学習とか文化芸術という大項目については総合計画の項目になっているが、やはりその項目の中で最も新しい市の取り組み内容をこのアンケートに示しており、それに対しての分析をしたいということで、2年に1回評価をしているので同じスポーツとかは学校教育という項目であっても、その当該2年間における取り組みの個々の記載内容によって多少その結果に変化が出てこようかと思っている。

ただ毎回ほぼ同じ項目について聞くことによって変化を分析する、なぜそう変わったのかということもアンケート調査の意味であるので、その辺りを総合的に見ながら施策の方にかにつなげていくかということに注視していきたいと思っている。

加藤職務代理者：この表だけが出ると学校教育について評価が低いのかということになるので、何をアンケートでとったかを必ずつけておかないと誤解を生む可能性があるなので気をつけていただきたいと思う。基本的にはまずこれでたたき台にしていいのではないかと私は思う。

神谷市長：今のいろんな御意見が出て文言等についてまた考えますという話だったが、今後のスケジュールを見たときに、これからの教育委員会の定例会はずっとテーマが教育大綱案の協議になっている。定例会で文言が、また出されて、御意見を拝聴するそういう機会が出てくる。舩尾委員の任期の終わりが近いので、見ないまま退任してしまうと、きちんと変わっているかというのは確認していただけないのである時期にはきちんとそれを出していただいて、お示しいただきたいと思う。

学校教育課長：承知した。

教育長：2点だけ、少し感想というか感じたことだけお話しさせてほしい。まず一つは話題に出た来年度の東京オリンピック・パラリンピックであるが、当然ここに書かれているのは、大人の視点から見て、スポーツをどう切りとるかという点かと思う。私としては、このオリンピック・パラリンピックを学校教育の中に取り込みたいという思いは大変強くあり、過日も春に中学校2校で、修学旅行で東京に行ったのですが、東京でパラリンピックの体験をしてきた学校もある。安城でやるのではなく東京で行うということに意味を見出しているようだ。また、小学校ではボッチャの競技を取り入れて、特別支援学級、それからその他の学級の交流で使っているところもある。

教育委員会の研修でボッチャを今年、取り上げているし、他のテーマソングの「パプリカ」という曲もスポーツ課長にDVDを借りて校長会でも流し、いろいろPRしており、小学校のこの春の運動会でも「パプリカ」を使った演技その他を行っていただいた。

ぜひとも子供たちに夢や希望や期待、志を持たせる絶好のチャンスととらえているので、この要綱の中でもお互いにリンクをしているというように理解をしている。

それからもう1点、全く別件だが、近藤委員から話題に出していただいた学力テストの問題である。学力テストにかかわっては本当にいろんな方がいろんなことを言われている。指標の一つにしてはという御意見をいただいたわけだが、私も基本的に学校教育課長の話をした内容と全く同感である。

神谷市長：その他、お気づきの点等あれば、特に御指名申し上げないが、それぞれ御発言をいただければと思う。

伊奈委員：感想ですが、大綱（案）の生涯学習の新しくプラネタリウムの利用促進を図りますと書いてあるところだが、ぜひ、プラネタリウムが最新技術のうちに、子供たちにたくさん見ていただきたいと思う。

生涯学習課長：プラネタリウムの利用促進ということで、この6月の補正予算で、天文グッズの販売を8月の下旬ぐらいを目標に調整している。また、無料の小・中学生向けの招待券も、1周年ということで予定しているので、これからもよろしく願いたい。

神谷市長：安城市内の子供だけではなく、幼稚園保育園など、遠隔地から遠足で来ていただくケースもあるのか。

生涯学習課長：幼稚園保育園については市内よりも、市外からバスで学習等ということで来ていただいております。その後、安城公園にも、散策して、遠足も兼ねて帰っていかれることもよく散見される。

神谷市長：そういう他市から来た場合には、幼稚園児対象か小学生対象かでいろいろ変わるのかもしれないが、そもそもどういう番組を見ていただいているのか。

生涯学習課長：こういった番組があるということで選択をしていただく。主に幼児向けの番組が多いという状況である。

神谷市長：宇宙服を借りてくるというのは。

生涯学習課長：冬休みぐらいを目途に展示していこうということで計画している。

神谷市長：他にはよろしいか。それでは、御意見等も出尽くしたので、議題1の「第2次安城市教育大綱策定方針について」を終わらせていただく。

議題（２）その他

アンフォーレ課長：それではアンフォーレ課から、アンフォーレオープン２年間の状況をまとめさせていただいたので、貴重なお時間をいただいて、「子どもの読書推進現在進行中」と題してご報告させていただきたい。

（アンフォーレ課長説明する。）

神谷市長：ただいまアンフォーレの状況等について説明があったが、これに関して、思うところであれば、御発言をいただきたいと思います。先日、新聞の社説では公立図書館を取り上げられていて、全国的に見ると財政難によって、新規の書籍の購入費を物凄く削ってしまい、だんだん気の毒な状況になっている図書館が非常に多いということが書いてあった。本市は新書の購入費は削減していないつもりだがいかかが。

アンフォーレ課長：はい、おかげさまで十分な資料費を確保させていただいてる。

神谷市長：学校の図書も同様か。

総務課長：同様である。図書振興費でいただいている。

神谷市長：アンフォーレに関してはよろしいか。

船尾委員：アンフォーレはいつ来ても必ず人が循環していてとてもいいと思っている。これから実になっていくとよい。いろいろ工夫してくださった結果こうなっていると思うので、これからもよろしくお願いしたい。

第５ 事務連絡

第６ 閉会

閉 会 午後３時１０分